

月日会70周年に向けて!

月日会会員の力を集めて、楽しい会を実現しましょう!

月日会々報

発行所
都立田園調布高等学校
同窓会 月日会
東京都大田区田園調布27-1
発行人 鍵和田幹夫
編集責任者 小西正晃

おもな内容

- 月日会70周年に向けて!
 - 幹事会だより
 - 近況お便り、ご寄付、ありがとう
 - 一般財団法人田園調布教育財団
 - 教職員移動、進路状況
- (一画)
(二画)
(三画)
(四画)

来年はいよいよ月日会70周年です!

実行委員への協力をお願いします。

月日会会長 (20期) 鍵和田 幹夫



はじめに第9代 内藤隆校長先生 (昭和60年4月、平成元年3月) が12月10日に、第10代前田徹校長先生 (平成元年4月、平成4年3月) が12月9日に逝去されましたことを報告いたします。長年月日会活動にご理解ご協力をいただいたことに敬意を表するとともに心からの哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが発生し、これまで経験したことのない長期に亘る「自粛生活」を送る日々が続くことにより、休止せざるを得ない事業も多く、活動が大幅に縮小せざるを得ませんでした。

昨年から本格的に進める予定の「月日会70周年事業」の準備も、この5月より実行委員会をスタートすることができました。15期の新井実行委員長を中心に、来年度の開催に向けた準備活動は、9月以降に本格的に開始します。準備作業は、これまでの周年事業とは全く異なる環境の中での難しい判断が求められますが、是非多くの会員のご協力により開催までの準備を進めていきたいと考えています。成功には一人でも多くの会員の皆様の力が不可欠です。是非、実行委員へのご協力をお願いいたします。

ここ数年、現役生との日常的な交流を進め、卒業時の月日会入会を勧める活動も引き続き積極的に進めています。生徒会役員との懇談会、職員室横の掲示板での活動報告掲示に加え、昨年から会報に生徒会長による「生徒会活動報告」の掲載、PTA連絡メールによる保護者への月日会からのメッセージ提供など、これからの月日会の存在をより身近

令和4年11月に月日会70周年記念総会・懇親会を開催予定

来年(令和4年)秋に「月日会70周年記念総会」を開催いたします。品川プリンスホテルでの「60周年記念総会・懇親会」には多くの会員・来賓が来場され和やかに懇親を深めることができました。「70周年記念総会」も、これまでの総会同様各世代に亘る多くの会員の皆さまにより、同世代の仲間や世代を超えた先輩後輩が、母校の辿ってきた道筋を振り返るとともに、現在そしてこれからの母校の姿を語り合う場になると考えています。新型コロナウイルス感染症の影響により本格的な準備に入れない状況が続いていますが、現時点での予定は次のとおりです。詳細は43号会報に掲載します。

日時 令和4年11月の土曜日又は日曜日 午後1時から
会場 品川駅周辺会場を予定しています。

*新型コロナウイルス感染症等により、中止・変更の場合があります。

月日会70周年実行委員長
新井 國貴(15期)

月日会70周年第2回実行委員会開催案内

「月日会70周年第2回実行委員会」を下記のとおり開催いたします。「月日会70周年」を成功させるために多くの会員のご参加をお待ちしています。

日時 10月16日(土) 午後1時30分～午後2時30分
会場 田園調布高校1階小会議室(予定)

*新型コロナウイルス感染症等により、中止・変更の場合があります。

・参加申込み方法
参加を希望される方は、同封した「会費入金票」にて会費振込の際に「月日会70周年実行委員会参加」欄に○を記入するようお願いいたします。

・学校を利用する上でのお願いです
①駐車場はありません。ご来場は、公共交通機関をご利用ください。
②学校内は、禁煙となっています。
③学校内は、決められた場所以外は立ち入り禁止です。

御挨拶

都立田園調布高等学校校長
第21代 福原利信



日頃より本校の教育活動に御理解、御支援を賜り誠にありがとうございます。コロナ禍で学校の運営も例年とは違い、多くの制限を受けています。月日会の活動も、思うように進まない状況であることをお察しいたします。

この4月より本校に着任し、生徒、教職員には「出来ないことを嘆くのではなく、出来る事をできる範囲でやってみよう!」と伝えています。都立高校ですの東京教育委員会のガイドライン以上の事は出来ませんが、感染防止に努めて一度しかない3年間の高校生活が少しでも充実したものになるよう、教職員と協力して対応していく所存です。

令和3年度は東京都教育委員会より「進学指導研究校(第二期)」「理数研究校」「エンジョ

会」が演劇の大道具を作っていました。

初めまして

副校長 小城原 友子



月日会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

私は、本年4月に着任いたしました。小城原 友子(おぎはらともこ)と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。PTAのお便りにも書かせていただきましたが、田園調布高校との出会いは、十数年前に遡ります。私が品川区の高校に勤務していた時のことです。グラウンド改修のため、当時陸上競技部の顧問だった私は、昔の同僚を頼って、夏季休業中、田園調布高校陸上競技部と合同練習をさせていただきました。筆部隊が熱心に練習しており、美しい音色が聴こえて来りました。教室前の廊下では、有志の生徒さんたちが演劇の大道具を作っていました。

今年も、緊急事態宣言が延長される事態となる等、先が見通せない状況が続いています。分散登校中は、時間割通りのオンライン授業を実施しております。実施できたのは、先生方の熱心な取り組みと生徒の協力があってのことだと思っております。

依然として収束が見えない状況で、これからも御心配や御負担をおかけすることもあるかと思ひます。今後とも御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

エアコンも全て新しく更新されます。来年以降も、特別教室へのエアコン設置、トイレの改修など田園調布高校の教育環境の充実に努めてまいりますので、今後とも学校運営に御協力をお願いさせていただきます。御挨拶とさせていただきます。

た。練習が終わり、体育教官室でいただく麦茶が美味しかったことは今でも忘れられません。

そして夏が終わり、秋の大会からは、仲良くなった両チームの部員が選手として出場すると、両校の部員が一緒に、声が枯れれば、熱心に応援をしていました。3年生の中には、大学進学先まで同じになった部員もいました。スポーツを通して出会う両校の生徒の絆は強く、顧問として、とても嬉しく感動的な体験でした。御嶽山までの帰路の途中にあたふた小児科病院はもうなくなっており、生徒たちと立ち寄ったコンビニエンスストアはまだありました。当時を懐かしみながら田園調布高校に着任したことに縁(えにし)を感じております。

先日、来年11月の周年式典に向けた月日会70周年実行委員会に参加させていただきました。6期の卒業生から、68期の卒業生まで出席されていました。まさに、世代を超えた交流があることに驚き、感動いたしました。

今年も、緊急事態宣言が延長される事態となる等、先が見通せない状況が続いています。分散登校中は、時間割通りのオンライン授業を実施しております。実施できたのは、先生方の熱心な取り組みと生徒の協力があってのことだと思っております。

依然として収束が見えない状況で、これからも御心配や御負担をおかけすることもあるかと思ひます。今後とも御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

多摩

新横浜の某ホテルで、「ダイヤモンドプリンセス」号で事態収拾にあたっていた友人から、感染症対応最前線の混乱ぶりを聞いたのはいつだったろうか?手帳を見直してみると、2020年2月16日(日)のお昼頃の出来事だった。

それからまもなく安倍首相の「学校休校」宣言から始まった「新型コロナウイルス感染症」騒動は、まもなく18ヶ月を過ぎようとしている。

在宅勤務が増えたり、毎月参加していたマラソン大会も軒並み中止になったり、飲食の機会が激減し、毎年開催してきた19期同期会も中止になるなど、これまで当たり前のように送ってきた生活が大きく変わる一年だった。

しかし、悪いことばかりではなかった。例えば、「ZOOM」とか「チームス」などのコミュニケーションツールを使わざるを得ない環境に置かれたことにより、今では特に違和感なく馴染むようになった。又、自粛期間中には趣味の読書に集中的に取り組む、年間約100冊読破という信じられないことも実現した。

いずれこの騒ぎも落ち着く時は来るであろうが、これまでと全く同じ生活スタイルに戻ることはないと覚悟はしなければならぬだろう。

一人一人が、新しい生活スタイルの中で自分の興味あることをどのように実現させていくかの工夫をすることが求められるだろう。

しかし、この騒ぎが新たな挑戦の機会を作ってくれたと考えれば決して悲観的になる必要もないだろう。

どんな時でも前向きに考えていくことが、一番大事な事と考えますが皆さんはいかがですか?

(19期 鍵和田)

年会費ご納入ありがとうございます。今年度もよろしくお願い致します。

会員の皆様には、月日会活動にご理解をいただき感謝しております。この会報を皆様にお届けできるのも皆様からの年会費・ご寄付のおかげです。ご協力を本当にありがとうございます。

幹事会便り

幹事会活動

- 幹事会 (5回)
- 会計委員会 (随時)
- 会報委員会 (随時)
- 入学式・中止 (4月7日)
- 新幹事オリエンテーション (5月23日)
- 会報41号発行 (7月7日)
- 生徒会役員との懇談会 (7月22日、12月21日)
- ぼろにあ祭・中止 (9月5日、6日)
- 月日会70周年準備会 (10月17日、以降中止)
- 月日会70周年実行委員会・中止 (3月14日)
- 卒業式予行・不参加 (3月5日)
- 卒業式・不参加 (3月6日)

母校協力活動

- 体育祭・中止 (6月5日)
- 学校授業公開・中止 (6月6日、10日、11月5日、11日)
- 合唱祭・中止 (2月10日)

一般財団法人 田園調布教育財団協力活動

- 理事会 (3回)
- 評議員会 (1回)
- 運営委員会 (1回)
- 多摩川河川敷清掃活動・中止 (5月31日)
- 第33回ふれあいバザー・中止 (9月5日、6日)
- 第4回スポーツ鬼ごっこ体験会・大会協力 (10月25日)
- 手話講習会協力 (11月7日)
- 第2回郷土の歴史探訪協力 (11月14日)
- 第17回中学生サッカー大会協力 (11月23日)
- 手作り講習会・中止 (12月)
- 第14回小学生野球大会協力 (12月6日)
- 第1回小学生サッカー大会・中止 (1月24日)
- パソコン講習会・中止 (2月6日、13日、20日)
- グラウンド抽選会協力

(2000M開催)
○その他、各実行委員会参加 (随時)

PTA協力活動

- PTA親睦会・中止 (10月3日)
- 卒業を祝う会・中止 (3月7日)

清流会協力活動

- 清流会総会・中止 (6月)
- 清流会バス研修・中止 (12月)
- 清流会新年会・中止 (1月)

令和3年度月日会役員

名誉会長 田中 博隆 (6期)
会長 鍵和田幹夫 (19期)
(幹事長兼任)
副会長 新井 國貴 (15期)
(70周年実行委員長、名簿委員長兼任)
副会長 源田真由美 (20期)
(会計委員長兼任)
副会長 小西 正晃 (37期)
(会計委員長兼任)

令和3年度
一般財団法人田園調布教育財団
月日会関係役員

- 評議員 鈴木 洋子 (11期)
- 理事長 田中 博隆 (6期)
- 理事 鍵和田幹夫 (19期)
- 理事 源田真由美 (20期)
- 監事 小西 正晃 (37期)
- 監事 金子喜一郎 (7期)
- 運営委員 初音みね子 (14期)
- 運営委員 新井 國貴 (15期)
- 運営委員 加持 和子 (16期)
- 運営委員 永井 公規 (61期)
- 運営委員 小田島あやめ (61期)
- 運営委員 原田 美遥 (62期)
- 運営委員 高橋 圭哉 (63期)
- 運営委員 鈴木 楓 (63期)
- 運営委員 保坂晋之介 (67期)
- 運営委員 白井 蓮 (68期)
- 運営委員 八代 開斗 (68期)
- 運営委員 荻野 真嗣 (68期)
- 運営委員 豊山 純平 (68期)
- 幹事 天海 遥子 (66期)
- 幹事 金城 圭亮 (67期)
- 幹事 保坂晋之介 (67期)
- 幹事 松林 京子 (67期)
- 幹事 種村七奈海 (67期)
- 幹事 中島 匠 (68期)
- 幹事 白井 蓮 (68期)
- 幹事 八代 開斗 (68期)
- 幹事 荻野 真嗣 (68期)
- 幹事 豊山 純平 (68期)
- 幹事 守屋 俊亮 (69期)
- 幹事 東田絵里奈 (69期)
- 幹事 福井 詩潮 (69期)
- 幹事 岡崎 美奈 (69期)
- 幹事 木村 澤幸 (69期)
- 幹事 木村 勇樹 (69期)
- 幹事 小松 りる (69期)
- 幹事 鈴木 翔也 (69期)
- 幹事 後藤 彪治 (69期)
- 幹事 小林 和奏 (69期)

来秋、懐かしい母校の総会に
是非ご参加ください！

月日会名誉会長 (6期生)

田中 博隆



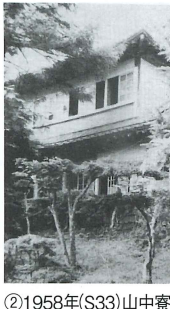
一般財団法人田園調布教育財団理事長

新型コロナウイルス感染症への対応
の中での月日会の活動も「三密」を避け、安全な活動に徹してまいりました。オンラインでも史上初の1年延期となりました。
この会報がお手元に届くころ、まだコロナ禍が収束しない中、オンラインは開催されたいと思います。将来に禍根を残さないか心配しています。57年前のオンラインピックの感動は今も忘れてはいませんが、さて、月日会では、70周年記念総会の準備に取り組み始めています。月日会50周年記念総会や、田高60周年記念式典の感動を思い出し、会員の皆様が青春時代の懐かしい想いを語り合い親睦を深めていただければと願っております。コロナの心配のない総会になってほしいです。
「田園調布高校」の前身の「大田高校」が昭和25年(1950年)創設されました。
初代岡沢校長先生の「諸君、パイオニア精神を持て。」が

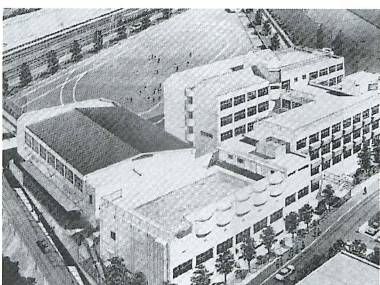
「田高」の魂です。
昭和29年(1954年)田園調布高校(改名)としてこの田園調布の地に、木造3階建て(写真①)の校舎が建ちました。今、新幹線が走る線路はデゴイチが走り、校舎がたがたとゆらゆらしています。この校舎の一隅に、階段教室の音楽室があり、食堂と売店、そして生徒会室がありました。木造のかわい校舎で、ここが「田高」のオアシスでもありました。
何といっても多くの「田高生」の青春の日は、山中寮(写真②)ではありませんか。思い出を沢山つくってくれた山中寮。多くの同窓生が、「泊まった、泊まった」と話して花が咲くことでしょうか。
昭和33年(1958年)竣工から、昭和57年(1982年)まで、24年もの長い間、多くの同窓生に愛された青春の若でした。都立高校ではこんな素晴らしい宿寮をもっているのは、めずらしいものでした。
寮の管理運営は、「財団法人田園調布」が致していました。この売却の財産は、「財団法人田園調布」で管理運営し、平成25年(2013年)に、現在の、



①1994年 (S29) 木造校舎



②1958年 (S33) 山中寮



③1991年 (H3) 新校舎

「一般財団法人田園調布教育財団」に引き継がれています。「田高財団」は、学校支援活動、グラウンド運営管理、地域支援活動と幅広く奉仕活動を行っています。
「多摩川河川敷グラウンド」では、幾たびも台風による大被害を受けそのたび復旧工事も乗り越えてまいりました。運動会や、体育授業、部活動の活力の場でした。現在の新校舎ができる前は、ここに「田高あり」と「私も、このグラウンドが、自分を大きく育ててくれた」と思っています。朝から夕まで地域スポーツクラブが活動し、「田高財団」の収入となっています。現在の

新校舎(写真③)は平成3年(1991年)に竣工しました。グラウンドも出来運動会も開催されています。何といっても屋上にプールがあります。また、小会議室が、月日会、財団、の強い要望で計画されたことは喜びでした。月日会、財団の会議に、ぼろにあ祭の月日会会場、バザーの会場に使用させていただいております。
「田高」70周年記念誌の表紙(写真④)が桜の咲く正門です。今春、体育館には、「校歌額」が設置されました。「田高財団」も応援寄付いたしました。これからは走り続ける「田高」の応援団として、1期生、来春卒業の70期生までを一堂に会した月日会総会を成功させ、走り続ける「田高」の未来に向けてエールを送りたいです。



④

東京都立田園調布高等学校
創立70周年記念誌
平成22年～令和元年 (2010年～2019年)

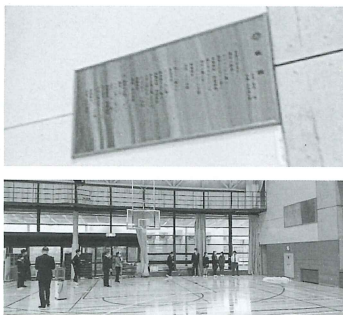
令和2年度卒業式

令和3年3月6日(土)に第69回卒業式が挙行されました。
今年の卒業式も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症感染防止のため、制限がかかった状態での挙式となりました。来年以降以前のように実施できることを祈ります。この1年、私たちは日常生活のありがたに気づかされてきました。あらゆることへの感謝の気持ちを忘れずに生きていくと思います。

岡崎 美奈 (69期)

令和3年度入学式

令和3年4月7日(水) 72期入学式が開催されましたが、新型コロナウイルス感染症により、来賓の参加はなく保護者各1名のみの参加となりました。月日会からは鍵和田会長、田高財団からは田中理事長がそれぞれビデオメッセージにより新入生



新卒生 六十九期生

田高卒業生は延べ一万八千三百一十名となり、連続可能な日会員は約一万名です。

一般財団法人 田園調布教育財団

新型コロナウイルス感染症により活動が大幅に縮小しました。

本財団は、主に運営委員を中心に「学校支援」「地域支援」「多摩川河川敷グラウンド運営」の各事業を企画運営しています。

一昨年度は、多摩川河川敷グラウンドが利用できない状態が長期間続きましたが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症により、田高の利用が困難となり学校施設を利用した多くの事業が中止となりました。

一昨年度は、多摩川河川敷グラウンドが利用できない状態が長期間続きましたが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症により、田高の利用が困難となり学校施設を利用した多くの事業が中止となりました。

田高財団事業報告

理事長 田中 博隆 (6期)
副理事長 鍵和田幹夫 (19期)
理事 源田真由美 (20期)
理事 小西 正晃 (37期)

月日会としても、財団が進めている改革に出来る限り協力をしていきたいと考えています。今後も、財団活動へのご支援ご協力よろしくお願い致します。

そのなかで、多摩川河川敷グラウンドの管理運営について、利用団体有志による草刈や雑草取りなどにより、グラウンド環境の維持管理に努めています。昨年度は、8月からグラウンド管理委員会により新たな方法の検討を継続的に進めてきました。

10月25日(日)には好天の秋空の下、東京都スポーツ鬼ごっこ連盟との共催により「第4回スポーツ鬼ごっこ体験会、東京都大会」(9名)が開催されました。体験会には財団からの参加者8名を含め約40名、大会には、U-9、U-12の2カテゴリーに8チーム約100名が参加し、全国大会進出をかけた熱戦が繰り広げられました。その結果各カテゴリーからそれぞれ2チームが全国大会に進出し、11月の全国大会ではU-9カテゴリーで見事優勝の栄光に輝きました。

また、5月予定の「多摩川河川敷清掃活動」、9月予定の「ぼろにあ祭」(第33回ふれあいバザー)は、12月予定の「手作り講習会」1月予定の「第1回小学生サッカー大会」、2月予定の「バスコン講習会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

「70周年記念総会・懇親会」成功に向けてご寄付をお願いします！

来年度開催を予定している「月日会70周年記念総会・懇親会」(仮称)は、ソーシャルディスタンスを踏まえた会場設定や飲食提供など新型コロナウイルス感染症への対応が必要となることと予想されます。大会成功に向けて会員の皆様から「70周年記念」へのご寄附をお願いいたします。同封した会費振込に併せて「払込取扱票」の「月日会70周年へのご寄附」欄に金額をご記入の上、振込お願いいたします。来年度の「70周年記念総会・懇親会」で皆様にお会いすることを楽しみにしています。

今年の体育祭は9月に、ぼろにあ祭は10月に延期して開催決定！

「体育祭」は9月22日(水)、「ぼろにあ祭」は10月7日(木)8日(金)に延期して生徒のみにより開催することが決まりました。又、「ぼろにあ祭」当日に開催していた「ふれあいバザー」は今年も中止となります。現役生が頑張っている姿を直接見学することは今年もできませんが、2年連続の中止は避けられることができた事を喜びたいと思います。

生徒会の活動

生徒会会長 3年D組 劉 承 洋

こんにちは、生徒会長の劉です。私たちの活動を紹介していきます。

本校の生徒会は、積極的に学校行事の運営や、日頃より意見箱や生徒総会などを通じて、皆さんから頂いた様々な意見や要望について、素早く討論し、学校をよりよくするための工夫やアイデアを考え、実現させ、より良い生活環境につなげていきます。

生徒会が参加する行事は、主に三つあります。一つ目は、毎年の4月と11月に行われる生徒総会です。各クラスでH.R.討議をした結果を、私たち生徒会がまとめ、先生方に提出し、生徒総会終了後より具体的に実行、改善していきます。二つ目は、学校説明会のボランティアです。田高への入学を志望している中学生の方々に、先生方の学校の紹介に加えて、私たちが日常生活の様子を追加説明し、部活動有志を募集し、部活動の日頃の練習成果の発表をしています。三つ目は、球技大会の運営です。毎年三月中旬に行われる球技大会を、体育祭実行委員会などとともに、運営しています。生徒会はその中でメインの立場に立ち、全体の進行や審判、結果発表を行います。

桐の木

昨年「田高」は創立70周年を迎えました。コロナ禍の中で記念樹の桐の木を2本用意しましたが、日程の調整がつかず、1年間植木屋さんの庭に仮植えをしてもらいました。今春、第20代鴻野 誠校長先生にお立合いいただき創立70周年記念樹2本の苗木を植樹しました。(写真①)これで20本の桐の木になりました。植え込みをしてくれました植木屋は、月日会50周年に3本を植えて以来18年間今日まで見守って剪定をしてくれています。月日会50周年の桐の木は(写真②)の通り大木に育ち「田高」のシンボルとして堂々とそびえたつようになりました。「田高」の校章は、桐(ポロニア)。文化祭は、「ぼろにあ祭」。PTA会報は「ぼろにあ」です。生命力が強い木ですからこれからは、少し切り詰めることも考えています。切り詰めてもすぐ芽を出すことから「切る」が転じて「きり」と言われます。これから大きな青葉が素晴らしいです。そして秋の葉が散る景色、春になると美しい高貴な淡い紫色の花を仰ぎ見ることができ、毎年皆様に楽しんでいただいています。いつも「桐の木募金」にご協力いただきまして本当に有難うございます。

名誉会長 田中 博隆 (6期)

写真左は、田高70周年記念樹・桐の木
写真右は、月日会50周年記念桐の木

編集後記



を引き続きよろしくお願い致します。

37期 小西 正晃

教職員異動

【転出】

鴻野 誠 (校長) 足立工業高校
牛込 俊裕 (副校長) 蒲田高校
加藤 久典 (国語) 六郷工科高校・全
佐藤 ゆみ (地歴・公民) 大崎高校・全
松浦 明 (数学) 退職
石川 理代 (物理) 豊島高校・全
木村 礼美 (化学) 江東商業高校・全
酒井 正明 (理科) 桜修館中等教育学校
小見川 茂登子 (家庭) 八潮高校・全
山口 侑利 (保健体育) 退職
都竹 もの (保健体育) 大山高校・定
安達 里香 (情報) 葛西南高校・全
大田 仁 (経営企画室課長代理)
大田区立安方中学校

【転入】

福原 利信 (校長) 立川高校
小城原 友子 (副校長) 千歳丘高校
日向 昌平 (国語) 新規採用
大貫 敏章 (数学) 小岩高校・全
四間 大輔 (物理) 山崎高校・全
飯田 真里子 (生物) 蒲田・全
近藤 浩和 (理科) 園芸高校・全
飯村 香日子 (家庭) 三宅高校・全
南部 紳 (保健体育) 新規採用
井田 尚乃 (保健体育) 六郷工科・全
井上 正吾 (情報) 一橋高校・通
鯨島 直美 (経営企画室主任)
中部学校経営支援センター

進路状況

69期生の進路

合格者の多い四年制大学(既卒含む)

四年制大学	174	立正大学	28	専修大学	14
短期大学	11	日本大学	21	明治学院大学	13
専門学校	14	法政大学	18	東洋大学	12
就職・公務員	1	帝京大学	16	神奈川大学	12
浪人他	29	駒澤大学	15	国士館大学	10
合計	229	関東学院大学	15		

大学合格状況(現役のみ)

国公立大学 6名

東北大学(1)、東京工業大学(1)、横浜国立大学(2)、宮崎大学(1)、防衛大学校(1)

私立大学 432名

慶應義塾大学(1)、東京理科大学(4)、学習院大学(3)、明治大学(7)、青山学院大学(5)、立教大学(4)、中央大学(5)、法政大学(16)、成蹊大学(2)、成城大学(5)、明治学院大学(13)、國學院大学(7)、日本大学(20)、東洋大学(9)、駒澤大学(13)、専修大学(12)他



命努力していきます！

お知らせください！

会報を読んでものご意見、ご感想がありましたらご連絡ください。また、同期会開催案内、寄稿、住所変更等についてのお問い合わせも下記にお願いいたします。尚、お寄せ頂いた情報は掲載できないこともございますのでご了承下さい。

住所：〒145-0076 大田区田園調布南13-9-507

月日会事務局 宛 Fax: 03-6459-8119

HP: http://tsukihikai.net/